

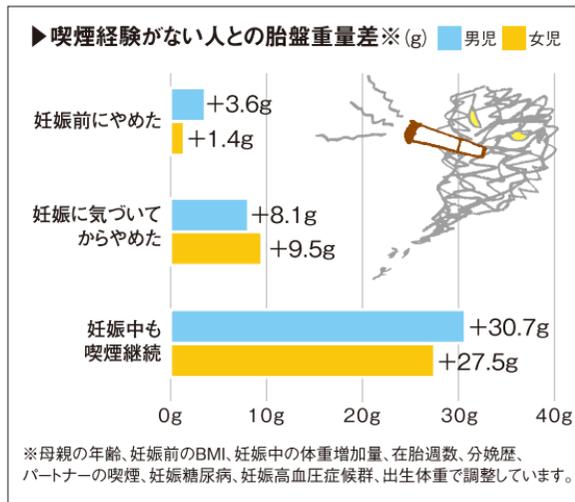
喫煙を続けると胎盤の重さが増える？

今回、**妊娠中の喫煙と胎盤重量の関連性**について検討しました。

妊娠中に喫煙を継続していたお母さんでは、出生体重は少ないにもかかわらず、胎盤重量は増加していました。さらに、妊娠中喫煙を継続していたお母さんの中では、喫煙本数が多いほど胎盤重量が増加する傾向がありました。

つまり妊娠中も喫煙を継続すると不釣り合いに重い胎盤となる傾向があることが示唆されました。

出生体重と胎盤重量がアンバランスとなるメカニズムは不明ですが、喫煙を継続することで胎盤の機能が低下し、機能低下を補うためにサイズを大きくして対処している可能性、つまり効率の悪い胎盤となっている可能性などが考えられます。



「妊娠中の喫煙と胎盤重量、胎盤重量/出生体重比の関連性」より

皆さんはお子さんの生まれた時の体重(出生体重)については、母子手帳にも記載がありご存じだと思います。では、お子さんの胎盤の重さ(胎盤重量)についてご存じでしょうか。多くの方はご存じないと思いますし、かくいう私も自分の子どもの胎盤重量を知らないのですが、通常、出産時には出生体重だけでなく、胎盤についても大きさや重さ、異常の有無など、詳しく観察・計測されています。

胎盤は母体と胎児の間で栄養成分や酸素の受け渡しに関与している重要な器官です。胎盤重量と出生体重の間には正の相関関係、つまり出生体重が大きければ胎盤重量も大きい傾向があります。胎盤重量と出生体重とのバランスが大切で、胎盤重量、出生体重ともに正常範囲にあることが最も理想的と考えられます。



満田 直美先生

高知大学医学部 環境医学教室
特任助教 / 小児科医師

広島県出身。現在2児の母。
専門分野は発達障害、小児心身症。